

建設問題調査会との意見交換会・懇談会における会長挨拶

平成26年12月15日（月）18時～

ホテルウエルビューかごしま 2F「潮騒」

皆さんこんばんは。県建設業協会・会長の川畑でございます。

本日は、自民党県議団・建設問題調査会の先生方には、第4回定例会の最中、また、厳寒の中にも関わりませず、恒例となっております協会役員との懇談会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

平素から、建設業界に対しましては、深いご理解の下に、地域の基幹産業である建設業の振興のための諸施策の推進に努めていただくとともに、当協会の業務推進につきましても、格別のご指導、ご高配を賜り、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

先生方には、定例会のさなか、今回の急な総選挙で大変なご苦労だったと思いますが、経済再生やデフレ脱却を深化させていくことについて、皆様のご尽力により、国民・県民の賛同が得られたのではないかと考えております。

地域社会を支えてきた建設業が活力を回復し、国民経済と地域社会に不可欠な役割を継続的に果たすためには、企業の安定的な経営の維持に必要な適正利益を確保しつつ、価格と品質に優れた公共調達が図られることが極めて重要であります。

また、昨年末の国会において、「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」が成立しましたが、今後想定される激甚災害や、社会基盤の急速な老朽化の進行等を見据え、災害に強い強靱な県土を構築するためには、社会資本整備を地域経済の活性化や成長力強化のための最重要課題として位置づけ、地域の実情や災害対応に配慮したビジョンを策定し、計画的な財政措置を講じることが不可欠です。

本日は、私どもの協会が抱えている課題や要望について、「要望書」として取りまとめ、お手元にお配りしておりますので、読み上げさせていただきます。

＜社会資本整備の着実な推進と担い手の育成・確保について＞

- 1 社会資本整備の着実な推進のために必要な公共事業予算を確保すること
 - ・ 県土の防災・減災対策、及び社会資本の老朽化対策を促進すること
 - ・ 高速交通体系のミッシングリンクを解消するため、東九州自動車道、南九州西回り自動車道、地域高規格道路等の整備促進を図ること
 - ・ 社会資本の建設や維持補修、地域の災害対応を担う建設産業の事業継続を図るため、計画的・安定的な予算確保を図ること

- 2 建設産業の持続的な発展を目指し、「担い手3法」の理念と趣旨の徹底を図ること
 - ・ 公共工事の担い手の育成・確保を図るため、発注者責務の明確化等を定めた「担い手3法」及び運用指針等について、市町村を含めその周知・徹底を図ること
 - ・ 担い手の育成・確保に向けて、建設企業の経営環境及び労働環境の改善を図るため、適正な利潤を確保できるよう、適正な予定価格の設定、最低制限価格の引き上げ、歩切りの根絶等、入札・契約制度のさらなる改善を図ること
 - ・ ゼロ国債・ゼロ県債など債務負担行為の一層の活用、適正工期の設定等により、発注や施工時期の平準化を図ること

- 3 建設産業の担い手の育成・確保に全力で取り組むこと
 - ・ 週休2日制の実現など労働環境の改善に必要な建設従事者の賃金水準を確保するため、適切な設計労務単価を設定すること
 - ・ 担い手の育成・確保に向けて、建設業人材確保・育成事業を含め、継続的に施策を講じること
 - ・ 社会資本整備の必要性及び建設産業の魅力や地域建設業の果たす役割について、広く県民に伝えるため、産・官・学が一体となり戦略的広報の展開に取り組むこと

以上、社会資本整備の着実な推進と担い手の育成・確保について要望しておりますので、建設問題調査会の皆様のご理解とご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

今年も残すところ半月となりましたが、新しい年は、日本及び鹿児島が飛躍発展することを期待したいと考えております。また、来年4月は、いよいよ統一地方選挙となりますが、自民党建設問題調査会の皆様には、景気回復の循環を地方の隅々まで拡げていただきたく、私どもも精一杯の支援をさせていただきたいと考えております。

本日は、せっかくの機会ですので、お時間の許す限り、ごゆっくりご歓談いただきませうようお願い申しあげまして、要望とあいさつに代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。